



令和7年度 地域支援センターささっこ 特別支援教育研修セミナー



7月23日（水）、昨年に引き続き、福島県立医科大学看護学部の佐藤利憲先生を講師にお招きし、「令和7年度 地域支援センターささっこ主催 特別支援教育研修セミナー」を開催いたしました。佐藤先生は、子どものメンタルヘルス、発達障がいのある子ども・家庭のサポート、子育て支援、そしてグリーフサポートを専門とされており、今回は「ペアレントトレーニングから学ぼう～気になる子どもたちへの支援方法～」と題してご講演いただきました。

先生のご講演は、発達に課題のあるお子さんへの支援に留まらず、定型発達の子どもから大人まで幅広く応用できる、大変示唆に富む内容でした。

講演の中心となった「ペアレントトレーニング」は、日々の困りごとに対し、子どもの内面（思いや気持ち）ではなく「行動」に焦点を当てる行動科学に基づいた支援方法です。研修では、子どもの行動を「①よい行動・増やしたい行動」「②よくない行動・減らしたい行動」「③絶対に許せない行動」の3つに分ける演習を行いました。

特に、以下の点は、演習を交えたご指導により、理解を深めることができました。

- ・よくない行動を指摘した後でも、必ず褒めて終えること。
- ・子ども一人ひとりの「ターゲット行動」を定め、意識的・計画的に褒めること。
- ・支援者側が共通理解を持ち、一貫した対応を心がけること。
- ・望ましい行動を当たり前とせず、むしろきちんとやっている子どもから褒めること。
- ・絶対に許せない行動は、人の体、自分の体を傷つけること。

そして、先生からいただいた資料は大変分かりやすく、研修後も繰り返し活用できる貴重なものとなりました。

今回の研修で得た学びは、困難を抱える子どもたちや保護者の皆様と関わるうえで、すぐにでも各教育現場で実践できるものです。今後の支援に大いに活かしてまいります。

ご講演の様子



保育園、幼稚園、福祉事業所、小学校、
中学校、高等学校から、多くの先生方にご参加いただきました。

